

ハウスレクチャシリーズin卸町2006

第18回 2006年6月23日 [金] 19:00~ (開場18:30)

講師 榎木野衣 (多摩美術大学美術学部教授)

コーディネーター 五十嵐太郎 (東北大学都市・建築デザイン学講座助教授)

house lecture series in oroshi-machi: sendai



日本ゼロ年展

テーマ：再生

ハウスレクチャシリーズとは...
2003年、仙台市若林区卸町の倉庫(ハウス)を改修し移転した阿部仁史アトリエを会場として、デザインを核に、街に新しい人の流れを生み出しつつ、地域や建築の「再生」について考えていくトークライブです。毎回、各地で「再生」のデザインを試みている講師をむかえ、スライドや映像などを交えながら、それぞれの実践を紹介していただきます。



今度のハウスレクチャでは、現在もっともトンがった美術批評家の榎木野衣さんをお呼びします。まずは永江朗さんのときと同様、施主シリーズとして、曾我部昌史さんに設計してもらった榎木邸についてお話しいたします。その後、関心のある現代美術の動向、ならびに建築のことに議論を展開する予定です。

榎木野衣

1962年生まれ。美術評論家。パンク、テクノポップなどの70年代後半以降のサブカルチャーから多大な影響を受けており、『美術手帖』編集部を経て、ニューヨークを中心としたハウスミュージックやシミュレーションアートを「盗用芸術」をキーワードに批評した『シミュレーションイズム』で91年、デビューする。以降美術メディアにとどまらない執筆活動や、レントゲン芸術研究所でのキュレーションなどを行いながら、98年に正史なき日本現代美術における「反=日本美術史」として、『日本・現代・美術』を刊行し、美術界内外から大きな反響を巻き起こす。日本ゼロ年展ではキュレーターとして、「日本現代美術をリセットする」というテーマを掲げ、展覧会の企画全体に関わった。

会場 :阿部仁史アトリエ/house in 卸町
仙台市若林区卸町三丁目3-16
車で来場の方は卸町第61駐車場(共同配送センター東)をご利用下さい。

開催日 :不定期(ただし金曜日)

定員 :80名(申し込み先着順)

参加費 :1,000円(ドリンク付き)

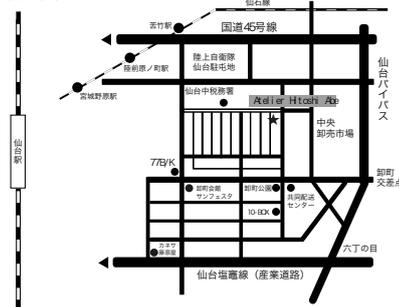
申込み :参加ご希望の方は、氏名、所属、メールアドレスを明記の上、

houselecture@a-slash.jp (堀口) もしくは
fax:022-782-1233 (阿部仁史アトリエ/堀口) までお申し込み下さい。
なお、準備の都合上6/19(月)までにお申し込み頂けると助かります。

協力 :協同組合 仙台卸商センター

お問い合わせ:022-284-3411(阿部仁史アトリエ/堀口,後藤)

会場案内図



最寄りの駅■JR石巻線宮城野原駅徒歩20分 ■仙台市営バス卸町演劇工房前徒歩5分 ■トラックターミナル・中税務署前徒歩5分 ■仙台駅4番乗場「東部卸町団地行」、「卸売市場 霞の目(営)行」16:52/17:52 ■32番乗場「卸売市場霞の目(営)行」16:43/17:43 ■仙台駅方面への最終バス時間「トラックターミナル・中税務署前発」20:46 ■最寄りの駐車場■共同配送センター東第61駐車場徒歩5分